

日本人のジェスチャー

はじめまして。私はオスロ大学のマリウス・リーバークネクトと申します。私は以前から語学学習に興味があり、語学についての日本と西洋の違いを色々な面で調べたりしてきました。しかし今日は話し言葉や書き言葉のことではなく、ジェスチャーについて話したいと思います。

私達は人とコミュニケーションをとる時、話し方や言葉を理解するだけでなく、もう一つの方法を頻繁に、そして無意識に、使っています。それは、ジェスチャーです。ジェスチャーとは、他の人に何かを伝えたい時にする身振り手振りのことです。もし今私がこのようなジェスチャーをしたら（天井を指さす）、皆さんは天井に何か見てもらいたいものがあるのだと簡単に分かります。でも、世界中の様々な文化のジェスチャーはもちろんすべて同じではありません。

例えば日本人はたまに、「こっちにきて」という時にこのようなジェスチャーを使いますが、もし西洋人に向かってそのようなジェスチャーを使ったら、相手は「さよなら」の意味だと思ってしまうかもしれません。

また、日本人は「結構です」という時、顔の前でこのように手を振ります。しかし、このように手を横にすると「断ります・できません」という意味になります。

西洋人が見たら何かの匂いがしているかと思う可能性があります。

ジェスチャーを見るとこのように全く違う意味になる場合がありますから、言語を勉強する時は、ジェスチャーも一緒に勉強したほうが良いと思います。

そのほか、人が自分のことを指さす時にも、また日本と西洋の違いがあるようです。私ならこうするんですが、日本人だと自分の鼻を指さします。この2つのジェスチャーはどちらも誤解されることはなさそうですが、このような基本的なことも文化によって違うというのもとても面白いと思います。

私は今年の秋、初めて日本に行く予定です。日本で今まで見たことがない新しいジェスチャーが見られるのを楽しみにしています。

これで私のスピーチを終わります。聞いてくださってありがとうございました。